

## 小中で取り組む互いの学校行事への参加活動

ねがい

### 〈目的〉

それぞれの学校の生徒を一方の学校の行事に参加させることによって、小学生には将来の見通しを持たせ、中学生には自己肯定感を感じさせる等の機会とする。

### 〈内容〉

#### ● 各校の運動会（体育祭）への参加

本年度は、小学校の運動会に中学生（希望者）が参加して、小学生と綱引き競技（小学生の方が人員を増やして）を行いました。また、中学校の体育祭に小学生（6年生）が参加して、ラジオ体操と玉入れ競技（小学生の方がカゴに近い距離から球を投げて）を行いました。小学校での綱引きでは、小学生のやる気もいつも以上に高まり、中学生も緊張の面持ちで本気の勝負となりました。中学校の体育祭でのラジオ体操では、中学生がお手本を示そうとするすがたが随所に見られました。



【中学校の体育祭に参加する小学生】

#### ● 小中交流朝の挨拶運動

小学校の児童会活動と中学校の生徒会活動の連携の一環として、毎月1回、朝の挨拶活動をお互いの学校の校門で行っています。この活動とともに、保護者・教職員・地域の方々が参加しての挨拶・安全パトロール活動も行っており、本校区の特徴ある活動となっております。この活動を通して、挨拶や交通マナーは一段と向上してきました。



【小学校の正門で朝の挨拶をする中学生】

#### ● 小学生の中学校訪問

小学生が中学校の授業を参観しました。この日は、中学校の保護者・一宮小学校6年生の保護者にも授業を公開しました。参観する方もされる方も真剣に行いました。この他に、中学生が職場体験学習の一環として、小学校に赴き、小学生の学習の手助けも行っています。



【小学生が中学生の授業を参観】

高まり

### 〈成果〉

これらの活動を通して、小学生は中学校生活をより具体的にイメージすることができ、入学に向けての不安が解消されたり、将来の中学生活に期待や親しみが持てたりしたようです。

一方、中学生は小学生と共に活動することで、自分たちが小学生をリードしなくてはならないと感じたり、小学生の前で失敗はできないと感じたりすることで、精神的な成長が見られました。